

広報

7103

2007
No. 638

お楽しみください。

■小さな木彫りのおひなさま

2月23日～25日、木彫家・あらいみえこさんの作品展が開かれました。

(関連記事：7ページ)



住宅用火災警報器を 取り付けましょう



直径約 10センチ。火災発生を大きな音で知らせます

消防法の改正により、住宅への火災警報器などの設置が義務付けられています。
火災を早く発見することにより、逃げ遅れによる被害を最小限に抑えることができます。
住宅用火災警報器の種類、設置方法などについてお知らせします。

既存住宅は平成23年までに設置を義務付け

近年、住宅火災による死者は急増しており、死亡原因の約7割は逃げ遅れによるものです。また、通報が遅れたために住宅が全焼するなど、火災発見の遅れによる被害は計り知れません。

こうした状況の中、消防法が改正され、住宅に火災警報器を設置することが義務化されました。

これにより、平成18年6月1日以降の新築住宅にはすべて住宅用火災警報器の設置が義務付けられましたが、すでに建築されている既存住宅には、平成23年5月末までに設置する必要があります。

しかし、義務化されたとはいえ、実際に設置されている家庭はまだ少ないのが現状です。何よりも大切な生命・財産を守るため、早めに設置しましょう。

警報器の設置で
逃げ遅れを防ぎます

住宅用火災警報器は、煙や熱を感じて、警報音や音声で火災の発生を知らせる装置です。

警報器を設置したことで、就寝中の警報音で火災に気づき、逃げ遅れによる焼死を免れた事例が多くあり、また、警報器などの設置により、住宅火災100件あたりの死者数が3分の1程度まで減少したというデータもあります（平成17年消防庁調べ）。

家電店などで販売
簡単に取り付け可能

警報器は、家電店やホームセンターで販売されています。煙感知式、熱感知式などの種類があり、電源も、家庭用電源を使うものと乾電池を使うものがあります。また、天井に取り付けるもの、壁に取り付けるものなど、部屋のタイプにより設置方法も様々です。価格は一つ数千円くらいです。警報器は、主に寝室への設置が必要です。寝室が2階にある場合は階段にも必要になります。取り付け方法は、ネジなどで天井や壁に固定するだけ。面倒な配線などは必要ありません。

詳しい取り付け方法などは次のページをご覧ください。

問合せ 役場総務企画課 防災係（電話72 0331）

大切な生命・財産を火災から守るためには、火災の早期発見・避難はもちろんですが、何よりも火災を起こさないことが最も大切です。

また、春先は枯れ草火災の発生も心配されま
す。次のこと
に気をつけて
火災を予防し
ましょう。



何よりも火災予防が一番

田畑のけた焼きなど、火災と紛らわしい煙や炎が発生するおそれがある行為をするときは、江府消防署（電話 77 2001）へ届出を

けた焼きなどを行うときは、消火用具を用意する、その場を離れない、風が強いときは行わないなど、じゅうぶん注意を

家の中では、ガスコンロのそばを離れるときは必ず火を消す、寝たばこは絶対しない、出かける前や就寝前には必ず火の元を確認する

また、一人暮らしの高齢者などの災害弱者を守るため、隣近所で協力体制をつくるなど、普段から火災予防を心がけましょう。

住宅用火災警報器 設置のポイント



寝室... 就寝中の逃げ遅れを防ぐため、寝室への設置が義務付けられています。煙感知式の警報器が必要です

階段... 就寝に使う部屋がある階の階段の踊り場に設置します。煙感知式の警報器が必要です

台所... できるだけ設置することが望ましい「努力規定」になっています。熱感知式の警報器が効果的です

設置上の注意

天井に取り付ける場合

火災警報機の中心を壁面から 60^{センチ} 以上離す

梁などがある場合、警報機の中心を梁から 60^{センチ} 以上離す

換気扇やエアコンの吹き出し口から 1.5^{メートル} 以上離す

壁面に取り付ける場合

火災警報器の中心が、天井から 15 ~ 50^{センチ} 以内の高さに来るように取り付け



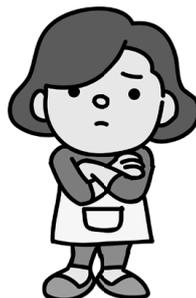
鑑定マーク（NSマーク）

また、日本消防検定協会が日本の法令に適合することを保証する警報器には「鑑定マーク（NSマーク）」がついています。購入の際は、このマークを目安にしてください。

町や消防署が直接警報器を訪問販売することはありません。また、特定の業者に商品をあつせんしたり、販売を委託することもありませんのでじゅうぶん注意してください。

悪質な訪問販売に 注意しましょう

困ったときは消費生活センターへ相談を



住宅用火災警報器、住宅用消火器などはクーリング・オフ対象商品です。クーリング・オフは、一定期間、無条件で申込みの撤回や契約解除ができる制度です。訪問販売で購入した場合、契約書を受け取った日から8日以内であれば、契約を解除できます。詳しくは鳥取県立消費生活センター 西部消費生活相談室（電話 0859 34 2648、34 2668）までお問合せください。

4月からごみ収集の方法が変わります

4月から、可燃ごみの収集が3地区から2地区に変更になるなど、収集の方法が変わります。詳しくは、3月5日全戸配布の「平成19年度ごみ収集カレンダー」をご覧ください。

また、きちんと分別する、決められた日・時間までに出すなど、ごみ出しのルールを守りましょう。



■ 4月から変わる内容

①可燃ごみの収集区域が、3地区から2地区に変わります

水曜日・土曜日の収集を廃止し、月曜日・木曜日、火曜日・金曜日の収集になります。新しい収集区域は、ごみ収集カレンダーをご覧ください。

②不燃ごみなどの収集は、全地区を1日で収集します

毎週水曜日が分別ごみ（不燃ごみ、資源ごみ、古紙など）の収集日になります。地区や班ごとの収集を廃止し、収集日当日は、すべての地区のごみを収集します。ごみの分別方法に変更はありません。

○詳しくは、役場産業振興課（電話 72-2101）までお問合せください。

ごみの焼却（野焼き）や不法投棄はやめましょう

不法投棄は、家庭ごみでも5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金またはその両方が科せられます。ごみを側溝や川に流すのもやめましょう。

また、野焼きはダイオキシンの発生や、煙・臭いなど、周りの家の迷惑になります。

ごみの減量化にご協力を

余分なものは買わないようにしましょう
過剰な包装のものは避けましょう
買い物ときは買い物袋を持参しましょう
物を大切に、繰り返し使いましょう
ごみを正しく分別し、リサイクルを心がけましょう



出し方のルールが守られていないごみは収集しませんのでご注意ください。

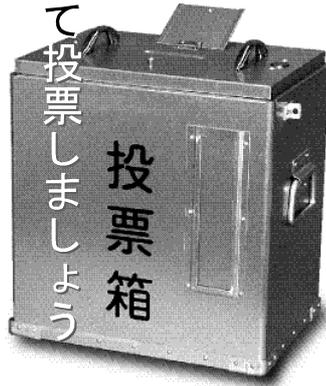
4月は「ごみの分け方・出し方強化月間」

収集しないごみ
ごみ袋やシールの名前が書かれていないもの
きちんと分別されていないもの
収集日の午前8時までに出不されてないもの
重すぎるもの（粗大ごみ以外は10kg以内）

県知事・ 県議会議員選挙

投票日は 4月8日(日)

みんなそろって投票しましょう



投票できる人
投票できる人は、昭和62年4月9日以前に生まれた人で、選挙人名簿に登録されている人です。
ただし、転入した人は、平成18年12月21日までに転入届を済ませている必要があります。

投票時間
4月8日(日)の投票時間は、午前7時から午後7時までです。
ただし、第1投票所(町公民館)、第11投票所(開発センター)、第12投票所(かじか荘)は午後8時までです。余裕を持って早めに投票しましょう。

入場券は忘れずに
投票に行くときは、あらかじめ配布した投票所入場券をご持参ください。入場券をなくした人は、投票所の受付に申し出てください。

投票区・投票所一覧

投票区名	投票所施設名	投票時間
第1投票区	町公民館	午前7時～午後8時
第2投票区	黒坂小学校久住分校	午前7時～午後7時
第3投票区	下黒坂ふれあい会館	午前7時～午後7時
第4投票区	小河内集会所	午前7時～午後7時
第5投票区	菅福公会堂	午前7時～午後7時
第6投票区	上上菅集会所	午前7時～午後7時
第7投票区	奥渡公民館	午前7時～午後7時
第8投票区	上本郷公会堂	午前7時～午後7時
第9投票区	老人憩の家	午前7時～午後7時
第10投票区	津地自治会館	午前7時～午後7時
第11投票区	山村開発センター	午前7時～午後8時
第12投票区	かじか荘	午前7時～午後8時
第13投票区	金持公民館	午前7時～午後7時
第14投票区	板井原公民館	午前7時～午後7時
第15投票区	町青年の家	午前7時～午後7時

期日前投票・不在者投票(3月23日～4月7日)

投票日に仕事や旅行の予定がある人、レジャーや買い物などで投票区を離れる予定の人は期日前投票をしておきましょう。

期日前投票期間
3月23日(金)～
4月7日(土)

県議会議員選挙の投票期間は、3月31日(土)～4月7日(土)まで

投票時間
午前8時30分～午後8時

投票場所 日野町役場

また、入院中の人、施設などに入所している人は、病院などで不在者投票ができます。くわしくは病院などにお問合せください。

郵便投票証明書の交付を受けている人は、郵便による不在者投票ができます。投票用紙などは、4月4日(水)までに、町選挙管理委員会(役場総務企画課内)に請求してください。

4月22日(日)には町議会議員選挙が行われます。詳細は「広報ひのおしらせ版 4月5日号」に掲載します。(立候補予定者説明会は4月3日です)

問合せ 町選挙管理委員会(役場総務企画課内) 電話 72 0331

真冬の風物詩

町仏教会たく鉢寒行



一軒ずつ家々を回って読経を

毎年恒例になっている、町仏教会によるたく鉢寒行が、2月11日と12日に町内で行われました。11日は黒坂地区で行われ、集まった10人の僧侶が黒い衣とかさをまとい、般若心経を唱えながら家々を訪ねました。12日には根雨、舟場、野田地区を回りました。また、たく鉢の風情のある姿をカメラに収めようと、県内外から多くのアマチュアカメラマンが訪れて撮影を楽しんでいました。なお、たく鉢に寄せられた浄財は、町内の保育所、小・中学校や福祉関係団体に寄付されることになっています。

まちの話

自然を活かしたまちづくりを

黒坂地区コミュニティ講演会

2月17日、黒坂地区コミュニティ推進協議会（柴田滋会長）主催の環境問題講演会が、町公民館で開催されました。

今回は、講師に日野総合事務所長、狩野宏さんを迎え、「環境と地域振興」をテーマに講演が行われました。狩野さんは、「総合事務所では、郡内の住民がこの地に住むことの豊かさを感じ、人にも伝えていくことができる地域づくりを使命として仕事をしている」と話し、また、先進地の例を挙げながら、自然エネルギー開発を通じたまちづくりなどについて解説、集まった約30人の参加者は真剣に耳を傾けていました。



田園や里山の魅力についても語る

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。
☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

日野町が生んだジャーナリストの生涯

日野郡の歴史セミナー



軽妙な語り口の川上さん

2月21日、日野郡の歴史セミナー（日野総合事務所県民局主催）が日野総合事務所で開催されました。今回は、明治・大正時代に活躍した日野町出身のジャーナリスト、頭本元貞について、郷土史家の川上護さん（根雨）の講義が行われました。頭本元貞は1862（文久2）年、下黒坂生まれ。名古屋英語学校で英語を学び、札幌農学校卒業後に英語記者となった後、当時の総理大臣、伊藤博文の秘書となり、通訳や帝国憲法草案の英訳などをこなしました。1897（明治30）年には日本初の日刊英字新聞「ジャパンタイムス」の創刊・編集に携わり、国際ジャーナリストとして有



創刊当時のジャパンタイムス



頭本元貞（写真：日野町誌）

名に。また、1917（大正6）年には衆議院総選挙で当選するなど、政治家としても活躍しました。川上さんは「元貞は英語教育が盛んでなかった当時において、時代のチャンスに恵まれた人」と評し、集まった25人の参加者らは地元の名士の生涯を感心しながら聞いていました。

素朴な木の風合いを楽しむ

あらいみえこ里がえり展



ひな人形のほかに小さな可愛い作品がいっぱい

松本市（長野県）在住の木彫家、あらいみえこさんの、6年間暮らした日野町での里がえり展が、2月23日から25日までの3日間、町公舎（根雨）で開かれました。

あらいさんはシナの木を使った作品づくりを続けており、今回はひな人形を中心とした木彫りの作品が展示されました。

里がえり展についてあらいさんは「故郷松本市から出たことのない私にとって日野町は第二のふるさと。久々に訪れましたが、変わらない人情の温かさや風景がとても懐かしくうれしく思いました。機会があればまた展示会を開きたい」と話していました。

あらいさん作のひな人形(一段飾り)を町図書館に寄贈いただきました。展示していますのでご覧ください。

いろんなそばを味わって

そばづくし料理を味わう会

まちの特産品であるそばを広くPRしようと、3月5日、そばづくし料理を味わう会（町食生活改善推進協議会、郡そば研究会主催）が開発センターで開かれ、町内外の約90人が参加しました。

テーブルには、そばを使ったサラダやのり巻き、そば粉のクリームコロッケやロールケーキなどのアイデア料理がずらり。食生活改善推進協議会の佐々木高子会長は、「この会も今年で4回目。会員同士で試行錯誤しながら一生懸命作りました」とあいさつ、参加者らは「風変わった料理の数々に感心しながらゆっくりと味わっていました。」



毎年参加する人も多く、前と違うメニューも楽しみのひとつ

長年にわたる消防活動を表彰

平成18年度消防庁長官表彰

消防活動に功績があった人を表彰する、平成18年度消防庁長官表彰の表彰式が3月2日、東京都で開かれ、町消防団の宮脇光男団長（根雨）が功労賞を、広川光保第一分団長（根雨）が永年勤続功労賞を受章されました。



宮脇光男団長

37年にわたる消防活動で得た経験と優れた技量により、昭和59年から第一分団長を、平成4年から副団長を勤められました。平成8年に団長に就任し、常に団幹部の中心として消防使命の達成のために尽力された功績が認められ、今回の受章となりました。

広川分団長は昭和48年に入団。平成4年から第一分団副分団長を勤められ、平成8年に第一分団長に就任されました。また、全国消防操法大会に3回出場、ポンプ操法に抜群の技量を発揮されるなど、長年の功績が認められ、今回の受章となりました。

おめでとございます。

はばたけ！日野の子どもたち

フットサル大会で優勝

2月11日、日吉津村で開かれた「第22回西伯郡フットサル大会」代表の部（5年生以下）に根雨小学校から6人の選手が出場、トーナメントの結果、見事優勝を果たしました。出場選手（敬称略）= 西村洗佑、西村安奈、恩田慶次、国重幸平、長谷川智哉、恩田延彦

ソフトテニス全国大会へ

3月29日～31日、千葉県白子町で開かれる「第6回全国小学生ソフトテニス大会」に、次の選手が出場します。

出場選手（敬称略）= 坂本樹、頭本龍大、名越廉、山本龍星、西村匠平、稲田光、木村理沙、坂本茉莉乃、西村渚、小谷真由

また、3月26日～28日に三重県伊勢市で開かれる「第18回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会」に、次の選手が出場します。

出場選手（敬称略）= 安達健太、楨原溪太、西村賢人、頭本憲明、音田夏子、谷口優佳子

土地価格等・家屋価格等縦覧簿の縦覧と
固定資産課税台帳の閲覧

土地価格等・家屋価格等縦覧簿の縦覧
期間 4月1日～5月31日
時間 平日の午前8時30分～午後5時まで

場所 役場住民課
閲覧できる人 土地、家屋の納税義務者

固定資産課税台帳の閲覧
期間 4月1日から、平日の午前8時30分～午後5時まで

場所 役場住民課
閲覧できる人 固定資産税の納税義務者(本人の台帳閲覧)、借地人、借家人(借りている物件の台帳閲覧)

問合せ 役場住民課評価係
(電話72 0333)

学校給食の物資

納入業者を募集

町学校給食会では、学校給食用物資の納入を希望する町内業者を募集します。
納入品目 野菜、漬物等加工品、鶏卵、豆腐、油揚げ等、

こんにゃく、味噌、鮮魚業者資格 町内に本店または支店・営業所があること
発注方法 1週間分毎に発注
納入期限 前日の午後2時から午後3時(月曜日、休日の翌日は午前8時30分まで)

申込み 申込書に必要事項を記入し、3月26日(月)までに教育委員会事務局に提出してください。申込書は教育委員会事務局にあります。(申込時に要綱をお渡しします)

契約 給食物資売買契約を締結(4月1日から1年間)

問合せ 教育委員会事務局
担当 小谷、谷口(電話72 107)

国納税専門官を募集

国納税専門官を募集
国納税専門官は、国税専門官を募集しています。募集要項は次のとおりです。

受験資格 昭和53年4月2日～昭和61年4月1日生まれの人の人

昭和61年4月2日以降生まれの人で、(1)大学を卒業した人、平成20年3月までに大学卒業見込みの人。(2)人事院が(1)に掲げる人と同等

の資格があると認める人
採用予定数 約1100人
試験の程度 大学卒業程度
受験受付期間 4月2日(月)から4月13日(金)まで

受験申込先 広島国税局
第1次試験 6月10日(日)

試験地 松江市、岡山市、広島市
試験科目 教養試験(多肢選択式)、専門試験(多肢選択式、記述式)
第1次試験合格発表 7月3日(火)
第2次試験 7月23日(月)から26日(木)のうち指定する日
試験地 広島市
試験科目 人物試験、身体検査
最終合格発表日 8月28日(火)

受験申込書及びパンフレットの請求、問合せ 広島国税局人事第二課試験研修係(〒730 8521 広島市中区上八丁堀6-30、電話082-221-9211)、または米子税務署総務課(電話0859-324121)

犬の放し飼いは、思わぬ事故の原因になります。散歩のときも飼い主が必ずロープなどでつないでおくようにしましょう。また、排せつ物はきちんと持ち帰るなど、飼い主のマナーを守りましょう。

実施日	時間	場所
4月11日(水)	13:15 ~ 13:30	舟場コミュニティセンター前
	13:40 ~ 13:50	広島ガス住設前(高尾)
	14:00 ~ 14:10	金持公民館前
	14:20 ~ 14:30	板井原旧県官舎前
	14:50 ~ 15:00	町青年の家前(濁谷)
4月12日(木)	13:10 ~ 13:30	ヘアサロン独歩横(野田)
	13:40 ~ 13:50	津地自治会館前
	14:00 ~ 14:10	老人憩の家前(下榎)
	14:20 ~ 14:30	上本郷公会堂前
	14:40 ~ 14:50	奥渡公民館前
4月13日(金)	15:10 ~ 15:30	開発センター前(根雨)
	13:20 ~ 13:30	久住集会所前
	13:50 ~ 14:00	小河内バス停前
	14:10 ~ 14:20	上菅駅前
14:30 ~ 15:00	町公民館前(黒坂)	

犬の登録・狂犬病予防注射
平成19年度の犬の登録と、狂犬病予防注射を右の表のとおり行います。登録にあたっては、犬の「名前」「生年月日」「種類」「性別」などがわかるようにしてください。



犬が固定できる人が連れて来てください 集団接種できない場合、犬猫病院で個人注射を受けてください
問合せ 役場健康福祉課
(電話 72 - 0334)

料金	新規登録の人	5,950円	(登録料・注射済証交付料・注射料)
	登録済の人	2,950円	(注射済証交付料・注射料)
	犬マーク	80円	(希望者のみ)

※「広報ひの3月号」から取り外してご覧ください

日野町人権・同和教育推進協議会 広報紙

人権のまち ひの

2007年3月発行

内容

- ①人権啓発講演会及び第31回日野町人権・同和教育研究集会
- ②各種大会参加報告
- ③小地域座談会の取り組み
- ④「少年の主張鳥取県大会」入選作文



■2006年11月10日、人権啓発講演会及び第31回日野町人権・同和教育研究集会が開かれました

写真は、ゲストの腹話術師、千田やすしさんと、パートナーのひかる君。ひかる君は、子どもの代表として「最近、子どもが犠牲になる事件や事故が多いです。子どもは体重は軽いですが、命の重さ、人権の大切さは子どもも大人も同じだということを考えてみてください」と客席に訴えかけました。

暮らしに生かす人権・同和教育の推進を

人権啓発講演会及び第31回日野町人権・同和教育研究会

約200人が参加
差別のないまちづくりを

人権啓発講演会及び第31回町人権・同和教育研究会(町人権・同和教育推進協議会ほか主催)が、2006年11月10日、町文化センターで開かれ、約200人の町民が参加しました。

開会行事で主催者代表としてあいさつした景山享弘町長は、「21世紀は人権の世紀と呼ばれるが、差別や偏見のないお互いの人権を尊重する社会にしていくために一人一人が何ができるかを問いつながら考え、行動していくことが大切。会場の皆さんと共に、日野町を差別のない、明るく安心・安全なまちにするための実践への一歩を踏み出していきたい」と語りました。

研究テーマを発表し
学習内容を確認

また、開会行事では、研究

集会で学ぶ的などをまとめた「研究集いがめざすもの」が、宇田川三枝副実行委員長の朗読により発表されました。

研究集いがめざすもの

日野町では、町民憲章をもとに、平成5年に「日野町部落差別撤廃及び人権擁護に関する条例」を制定し、人権尊重のまちづくりを推進してきました。

保育所や学校において、教育の重要な柱として人権教育を推進するとともに、各自治会において座談会を実施するなど、地道な啓発活動が行われ、そして本集いもその推進に重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、このような人権施策が展開されている一方で、多くの人権侵害や差別事象の発生に見られるように、人権が守られているとはいえない現実があることも事実であります。そのような事実の

背景には、命を軽んじる風潮や、家庭、地域における人間関係の希薄さ、人々の孤立感などが考えられます。今後も人権に関する施策をさらに充実する必要があります。

研究会では、家庭・学校・職場・地域で人と人とのつながりを深め、日々の生活の中



「研究集いがめざすもの」を発表する宇田川副実行委員長(写真中央)

で人権問題について話し合い、矛盾を感じたときは指摘しあえる関係をつくっていくことが大切であると考え、分散会等で討議してきましたが、今一步深まりがなく、マンネリ化しているとの指摘もありました。

そこで、第31回研究会を迎えるにあたり、今一度「差別の現状と課題」を確認し、共通理解し問題点を明確にして今後の取り組みにつなげていきたいと思ひます。

第1に、「同和問題の現状と課題」について具体的な提言をいただき、課題解決に取り組む方向を確認したい。

第2に、「子どもの現状と学校教育での課題」について提言をいただき、保護者や地域住民としてともに取り組む課題を確認したい。

第3に、「社会教育での現状と課題」について提言をいただき、今後の社会教育で取り組む課題を確認したい。過去30回の研究会の歴史

を基に、課題解決のために取り組む方向性が見出せるような研究会にしたいと思ひます。そして、次期集いにはその実践を持ちより課題にどのように取り組んだかを話し合っていきたいと思ひます。

本日は、「落語家、露の新治さんによるお笑い人権高座」を通して、認識を深めていただきます。人権を尊重するまちづくりを推進するために、町民がお互いに交流し、人権について学習し合ひましょう。

(抜粋)

この後、人権啓発講演会として、落語家の露の新治さんによる「新ちゃんのお笑い人権高座」、腹話術師の千田やすしさんによるステージ、同和教育関係者らによる研修が行われ、参加者は、盛りだくさんの内容で、さまざま人権問題について理解を深めました。

人権啓発講演会「新ちゃんのお笑い人権高座」

講師の露の新治さんは、大阪市生まれの落語家。現在は、落語はもとより、人権高座や出前寄席など、全国で活躍しています。

今回は、自分自身の体験も織り交ぜながら、身の回りにある差別意識や、誰もが笑顔で暮らしていくことの大切さなどを得意の話術でたっぷりと聞かせ、参加者は大笑いしながら、堅苦しいと思われがちな人権問題について楽しく学習していました。



泣いて暮らすも一日、
笑ろうて暮らすも一日。
笑顔で暮らさなもつたない。

■「若い」を生きる
年齢は、今まで生きてきた時間。歓迎すべきことなのに何故嫌がるのか。若い自分にとってありがたいこと。人の値打ちは年齢によって上がりもしないし下がりもしない。

■33代さかのぼったら、あなた一人のご先祖さんは85億人を超えまんねんで！
私たちは多くの先祖から枝分かれしてきた子孫。皆どこかでつながっているはずなのに、なぜ他人の血筋をあげつらうことができるのか。「どこで生まれて誰が親。そんなナンセンスなことを後生大事に守らなくてもええのじ」

■人間の値打ちは中身やで！
身体的特徴など、自分の欠点でも落ち度でもないことで差別されたり、劣等感を感じたり。それは不当な分け隔て。
自分もかつて他人を差別していた。自分がしている差別をやめていたら、自分がされている差別を跳ね返すことができたろう。自分が差別をしているから、されている差別を跳ね返せずに受け入れなければならなかったのだから。

■今のいじめの構造は「より弱いものいじめ」
差別は3つに分類できると思う。人から差別される「被差別」、自分で自分を差別する「自分差別、劣等感」。そして人にする差別「加差別」。差別の問題は加差別側にある。「加差別をやめなかん」

■缶詰めのパイナップル
缶詰めにされているパイナップルは、周りを削ぎ落とされたうえでスライスされてペラペラ。おまけに芯をくり抜かれてポカントンとつる。そんな今の私たち。「自芯」を取り戻さなければ。自芯が自信につながる。

■願いに生きる「願生る」
「すべての人が笑顔で生きていけるような世の中、生きてるうちになるかならへんかはわからへんけど、願うくらいはええやないですか。本気で願って、願いに生きていもんでいきます。」

■願いに生きる「願生る」
「すべての人が笑顔で生きていけるような世の中、生きてるうちになるかならへんかはわからへんけど、願うくらいはええやないですか。本気で願って、願いに生きていもんでいきます。」

同和問題の現状と課題

鳥取県部落解放同盟

鳥取県連合会執行委員長 中田幸雄氏

私が解放運動に関わってきた頃は、差別があつて当たり前という時代でした。現在では人権意識の輪が広がり、差別解消は国民的課題として取り組まれるようになってきました。ところが差別事件は今も後を絶ちません。全国の同和地区名が記載された悪質な差別図書「部落地名総鑑」のフロッピーディスク版の存在も発覚しました。

教育現場でも取り組みをされているが、校内での差別落書きやメールを使った人権侵害、日常の遊びの中でも差別用語を発するなど差別事件も起きている現状もあります。長いたたかひの末、同和地区の劣悪な生活環境を改善でき、また若者も様々な職業に就くことができるようになってきたにもかかわらず、これから先も同和対策を続けなければならぬ現状を考えると、もつと突っ込んだ取り組みが必要であると考えます。



研修「差別の現状と課題」

人権講演会後の研修では、森田勝彦実行委員長の司会で、部落解放・学校教育・社会教育それぞれの視点からとらえた差別の現状と課題が話し合われました。

社会教育での現状と課題

西部教育局 地域教育担当 清水和祥氏

社会教育における人権教育の取り組みは大



子どもの現状と学校教育での課題

鳥取県教育委員会人権教育課 安達才智氏

県では、同和教育の取り組みの中で人権教育が進められてきました。その手法を守りながら更に発展させていきたいと考えています。携帯電話やメールなど、機械的な部分で子ども同士つながっていますが、実は孤立しているという現状も見られます。このほか、規範意識・マナーの低下など様々なことが言われています。

学校の人権教育の中では、知識を多く教えてきた反面、それが実践につながっていないと感じます。この実践力が今の課題です。

また、家庭・地域においては、「子どもは家庭と学校とどちらが好きなのか？どちらを信じるのか？」を考えて欲しいと思います。最終

大きく分けて次の4つ。研究会のように参加者に来てもらうもの。小地域座談会など、地域に出かけていくもの。解放文化祭などの交流事業。広報活動など、文書にして届ける取り組みです。これらは郡内すべてのまちで取り組まれています。

こうした取り組みの中で各町に共通する課題は、参加者の固定化・高齢化。特に20代の参加者がほとんどないことが一番の悩みです。参加者が固定化すると事業のマンネリ感につながります。こうならないためには、取り組みの自己評価、参加者による評価が必要です。

自治会などの役目で参加した人もあると思いますが、これを義務と思わず権利だと考えれば違った気持ちで参加できると思います。今日の結果を家庭に持ち帰り、何かひとつでも自分の行動を変えていってほしいと思います。

的には親を信じて欲しい。それが家庭・地域力だと考えます。そのために学校との協力・信頼関係を築くことが子どもの成長に必要だと思っています。



参加者アンケート集計結果

参加者数 = 196 人 (男性 129 人、女性 67 人)

アンケート回答数 = 89 人 (回答率 45%)

あなたの性別は？

男性 55%	女性 45%
-----------	-----------

あなたの年代は？

20代 7.9%	30代 5.6%	40代 16.9%	50代 24.7%	60代 23.6%	70代以上 21.3%
-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	----------------

研究集会に参加するのは何回目？

今回がはじめて 27%	2回～4回 42.7%	5回～7回 14.6%	8回以上 15.7%
----------------	----------------	----------------	---------------

どのような所属（立場）での参加ですか？

民間企業・団体 22.5%	保育所・ 学校職員 7.8%	子どもの 保護者 7.8%	行政関係 16.9%	自治会 27%	その他 18%
------------------	----------------------	---------------------	---------------	------------	------------



軽妙な露の新治さんの講演に笑顔の参加者

参加者の声

アンケート結果から

今回の集会では、参加者の感想や意見を聞き、今後の参考にするためアンケート調査を行いました。前回の集会と比較すると、参加者のうち、20代の参加者が7.9%に増えていきます（前回は2.5%）。しかし、今回初めて参加したという人は27%と、前回の40.5%に比べ減少しており、参加者が固定化していることがわかります。

アンケートに寄せられた
主な意見

わかりやすい講演で、笑いながら聞いた。楽しい話の中にも考えさせられることも多くあり勉強になった。

聞くだけの研修になってしまった。少しは参加者の意見を聞きたかった。

今までと違った研修だったがたいへん良かった。中田氏、安達氏、清水氏の身近な問題を聞くことができ、改めて自分自身に問いかけられる差別感情など考えることができた。

講演を聞き、自分自身の心を変えることがいちばん大切ということがわかった。参加者が少ないのが残念。若い人の参加が少ないことと途中で帰る人が多いことが課題。自己変革のためには、まず自分を振り返ること。参加型の集いを望む。

年代ごとに研修会をしてみてはどうか。老若共に支えあって、まちのため差別を徐々になくすよう努力したい。

第58回全国人権・同和教育研究大会 に参加して

根雨小学校 西村 貴世志

2006年12月2日・3日に、愛媛県松山市で開かれた第58回全国人権・同和教育研究大会に参加しました。

本大会は、大会応援ソング『あなたのことばで（作詞・作曲 しげますよしかず）』で始まりました。生きる輝きを持つ大切さと人とつながりあう感動を、やさしく、でも力強く私に伝えてくれました。

特別報告での龍神太鼓。本気で差別に立ち向かい、厳しい差別に対する怒りの拳をバチに代え、訴えてきた反差別の願いが、一叩き、一叩きごとに私の胸に響き、奮い立たされるようでした。

特別分科会では、『つくろろう 人権文化が輝く社会を』というテーマでパネルディスカッションが行われました。同和教育の充実と発展、人権教育としての再構築とは、人権教育の指導方法などのあり方についてなど、分かりやすく学ぶことができました。

自分から行動を起こさなければならぬということ、そしてそれは自分自身の生き様を通して伝わるということ、応援ソングの歌詞にある、『あなたにはあなたでなければいけないことがある』ということを変えて考えさせられた一日でした。いつまでも心に置いて日々の生活を送っていきたいと思います。



各種大会への参加報告

第21回人権啓発研究集会に参加して

日野町役場総務企画課 伊田 喜浩

2007年2月8日から9日にかけて、和歌山県白浜町で開かれた第21回人権啓発研究集会に、同推協地域社会部会長の松本元男さん、教育委員会の松村譲さんと3人で参加しました。

今回の研修では、人種差別や外国人の人権について学ぶことができました。たくさん講演やパネルディスカッションがありました。大阪市立大学教授、朴一さんの「在日外国人の人権に関する課題と自治体の対応について」、北海道情報大学助教授、有道人さんの「ジャパニーズオンリー 日本における人種差別」の二つの講演が印象に残ります。

朴さんからは、在日外国人に対する行政サービスや外国籍住民の地方自治への参加についての課題が提起されました。その中で、公務員試験の国籍条項を定める法律はない、自治体の判断で外国人を公務員に採用できるとのことでした。

有道人さんの名前は、アルドウィンクル・デビッドの当て字で、日本国籍を取得された日本人です。北海道にお住まいで、日本人社会の中で発見した外国人差別や不適切な事例を数多く指摘されています。外国人お断りの入浴

施設、外国人犯罪に注意を喚起するチラシの中で不適切な表現などです。詳しくは、有道人さんのホームページ（<http://www.debit.org>）に掲載されていますのでご覧ください。

人口減少社会の中で、日本に住む外国人がこれから増加するであろうと言われています。世界中の人から尊敬される日本人になれるよう、もっと人権感覚を磨いていかなければならないとこの研修を通じて思いました。



小地域座談会の取り組み報告

身の回りの人権問題について語り合う

町人権・同和教育推進協議会では、日常生活の中にある様々な人権問題に広く目を向けて地域の中で話し合い、人権を大切にしたい明るいまちづくりを進めるため、小地域座談会の取り組みを行っています。

今年度は、2006年10月から2007年3月までを開催期間とし、各自治会長を班長に、町職員や教育関係者を推進員とした23班が地域を訪れて座談会を開きました。

今年度のテーマは「暮らしの中の人権について話しませんか」。資料やビデオなどを通して、同和問題をはじめ、高齢者や子ども、女性に対する差別など、身の回りの人権問題について住民どうしで思ったことを話し合いました。

全自治会での開催が目標

座談会は、すべての自治会で開かれることを目標にしています。今年度の期間中、座談会が開かれたのは、全51自治会のうち30自治会。昨年度(23自治会)に比べ、開かれる回数は多くなっていますが、開かれていない自治会も多く、今後どのように地域に定着させていくかが大きな課題になっています。

2006年度小地域座談会まとめ

テーマ：暮らしの中の人権について話しませんか

サブテーマ：あなたの人権は守られていますか！

座談会での主な意見

ビデオを見て分かった気になるが、また明日になると分からない状況になる。繰り返し学習することが必要。

みんなが参加できるような会を研究する必要がある。

いつの時代でも人間関係は難しいが、特に今はぎすぎすしていると思う。

自分の中の思い込みはなかなか変えられない。

私たちの地域は人と人とのつながりが強く、頼めること、してくれることがうれしい。一番大切なことだと思う。

人権について考え、勉強することが同和問題の根っこにつながると思う。根っこは一つだと思う。

子どもに対して、人間は一人一人、皆が大切な存在だという教育をしてほしい。学歴社会に乗っかっていくだけでは人としての心は育たないと思う。幸せは人それぞれの感覚による。良い学校、良い会社に行けばよいというものではない。

若い人と高齢者が交流する場をどんどん作りたい。家族同士で集まって話ができる場がもてたら良いと思う。

近年、高齢者に対する差別・虐待が言われている。こちらが冗談のつもりでな



参加者どうし、日ごろ気になることなど話し合う

げなくいった言葉が相手を傷つける。自分たちも意識して接する必要がある。

高齢者問題について。認知症を理解することは難しいことだが、理解する努力をし、自分を改革していくことが大事。

自分は一人暮らしをしているが、近所の人に助けられて過ごしている。近所どうしの助け合いのありがたさ、大切さを感じる。

子どもの頃から人権学習に取り組むことはとてもよいことだと思う。もっと学習の機会を増やしてほしい。

「同和問題は自分たちとは関係ない」という考え方になりがちだが、生まれたときからの人権というものを考えていくことで、自分のものとして考えられると思う。

私はなりたい

「親が子どもを殺した」

また、このニュースです。私は秋田県藤里町で起きた事件に強い怒りと疑問を抱きました。なぜ親が子どもを殺せるのか全くわかりません。どれだけ子どものごとで腹が立つても自分が産んだ子を殺すことはできないと思っただけです。私はこの事件をきっかけに「愛情」について考えました。

私は家族が大好きです。でも「どういうところが好き？」と聞かれたら答えることはできません。それは、全部好きだからです。おそらく私が生まれたときから注いでくれた親の愛情が自然と私の心に伝わり、当たり前のように家族に対して、親に対し、大好きという感情が身に付いたのだと思います。私が部活のことで苦しかったとき、私の話をずっと聞いてくれたのは母でした。母も仕事や家事でいろいろ大変だったのに、一生懸命聞いてくれました。話す前まではやめようと思っていた部活も、母の「お母さんはいつでも沙紀の見方やで」という言葉で、もう一度頑張ってみようかなという気持ちになりました。やさしく包み込んでくれる母の愛情があれば、どんな困難にも立ち向かえるような気になったのです。これだけ親にいろいろ相談しても、や

はり親に言いづらいことはあります。そんなときに話す相手は友達です。恋の悩みとかほかの友達とケンカをした時は、親より友達にすぐ話をします。友達は、私の話を黙って静かに聞いてくれて、私が間違っていることをしたときはきちん

と叱ってくれます。私はそんな友達が大好きです。これは「愛情」というのでしょうか。それとも「友情」というのでしょうか。国語辞書には、友達としての愛情」と書いてあります。私もこれは「愛情」だと思いません。愛がないと人のことを思

いやれないし、なんとかしてあげようとは思えないと思うからです。親と友達。私はどちらも大好きで愛情があります。しかし大好きな人でもケンは必ずあります。私は母とこんな話をしました。

「親とケンカして、めっちゃムカつくことを言われても親は許せる。なんでやるの？」と母。

私。「それが愛情って言っんじゃない。」と

どんなにムカつくことがあっても愛がある限り決して憎んだり殺したりはしません。あの秋田で起こった事件は、子どもに対する愛が足りなかったのだと思います。そして、その親も自分が小さい時

日野中学校3年 荒木沙紀

に親からたくさん愛情をもらっていなかったのではないのでしょうか。

私は、この事件やいろんな話をした中で、将来についても考えてみました。大人になったら私も結婚もしたいし子どもも産みたいです。そして仕事をしていくと思います。その中には、夫への愛や、子どもに対する愛、そして仕事関係で関わる友情（愛情）をもつでしょう。人の心には、愛情という、人を想える温かい気持ちがあるのです。だから、私は愛情をきちんともてる人になりたいです。このように思えるのも、私に与えてくれた母の愛情、友達からの愛情など、いろんな人の温かい気持ちがあったからです。とても感謝しています。

これから私は、まだまだたくさんの人に出会います。できる限り人のいいところを見つけて相手のことを思いやり、相手も私のことを思ってくれる、そんな愛情を大切にしていきたいと思っています。

この作文は、荒木さんが「第28回少年の主張鳥取県大会（青少年育成鳥取県民会議主催）」に応募し、総数1176人の作品の中から、入賞13人・入選10人の中の入選作品に見事選ばれたものです。

編・集・後・記

私たちの身の回りの人権侵害。インターネットの掲示板には匿名性を逆手に取った差別書き込みが多発し、高齢者を狙った振り込め詐欺や架空請求などの犯罪も、もはや他人事ではなくなってきています。また、その方法も時代と共に巧妙化・凶悪化が進んでいます。「人権の世紀」と呼ばれる21世紀も6年が過ぎましたが、今、私たちの人権は守られていると言えるでしょうか。「差別はなくなる」という声もあります。しかし、「差別はなくなる」という希望をもって取り組んでいくことも大切だと思います。

人権のまちひの

2007年3月20日発行

発行：日野町人権・同和教育推進協議会

編集：日野町人権・同和教育推進協議会

広報部会

印刷：高下印刷

お元気ですか 日野病院です

チームで行う退院支援～日野病院の退院支援体制～

日野病院 医療相談員 妹尾 小百合

平成18年度診療報酬改定により、入院期間（在院日数）の短縮と、早期に在宅生活へ復帰できるように医療体制の充実が求められています。

退院するということは、患者・家族にとってどのような出来事でしょうか。さまざまな事情はありますが、共通しているのは「元気になって退院したい」ということだと考えられます。しかし、退院することに多くの不安を抱えている患者様ご家族は時として、「こんな状態で病院を追い出すのですか」「もう少し入院してリハビリを続けたい」「認知症があり在宅生活が心配」という反応を示されます。そこで、日野病院相談室では、何を入院生活に望んでいるのか、どんな状態で退院を迎えたいと思っているのかなどの不安を解決していくための相談を受け付けています。

日野病院の入院患者の80％は65歳以上の高齢者です。高齢者は、病気で入院することで合併症を併発したり、障害を抱え日常生活にも支障を来たすことが多く、在宅療養への意欲が低下します。

また、介護者の不安も強くなり、退院に向けて積極的に考えられなくなります。主治医など病院スタッフは、退院後の生活を見ずえ、患者様・ご家族が安心して退院が出来るよう定期的にリハビリカンファレンス（会議）を行っています。

また、退院を迎える前に、



必要な制度の利用手続方法の説明・サービス調整を行うため、患者様ご家族を交えた退院前合同カンファレンスも行っていきます。ここでは、患者様ご家族の退院生活をおくるうえでの意向や、サービス機関の役割を確認し、療養生活が地域で支えながらおくれるよう話し合いを行っています。

しかし、日野病院だけでは安全で安心できる退院生活への支援に限界があります。今年4月から「地域連携室」を設立し、病院から地域・施設へと療養の場が移されるに当たり、地域のかかりつけ医や介護老人保健・福祉施設、介護支援専門員、介護保険サービス事業所、行政機関と連携、チームで行う退院支援をめざし、病気や障害を抱えている方も住み慣れた地域で在宅生活をおくれるよう

午前（受付時間：午前7時30分～午前11時30分）

診療科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	備考
内科	一診	五代 (循内)	五代 (大学)	五代 (大学)	井上 檀田	五代	檀田	循内は隔週
	二診	檀田	檀田	牧野 (脳内)				
	三診		井上					
	禁煙	檀田						
外科	(大学)	山根	大谷	山根	大谷		山根または大谷	
整形外科	山本	山本 (大学)	山本 (大学)	山本	山本	山本		
眼科	玉井	玉井 (大学)	玉井 (大学)	玉井 (大学)				
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他 (大学)		泌尿器科		耳鼻科		心臓・血管	皮膚科	

午後（受付時間：正午～午後4時）

診療科目	月	火	水	木	金	備考
内科	井上 (大学)	(大学)	(大学)	五代	牧野	
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	水曜日は第2・4・5のみ
その他 (大学)		心療内科		心臓血管	婦人科	心臓血管外来は第3木曜のみ 心療内科の受付は午後2時まで

医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

外来診療案内（3月1日現在）

教育委員会からのお知らせ 平成19年第3回町教育委員会開催

3月6日、平成19年第3回の町教育委員会を開き、次の6件の議案について審議、承認されました。

議案 町人権センター条例の制定の申出について
議案 町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の申出について

議案 町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の申出について
議案 町進学奨励金交付要綱の一部改正について
議案 町同和対策特別自動車運転訓練実施要綱の廃止について
議案 町同和対策雇用促進協議会設置要綱の廃止に

ついて

議案 については、先般委嘱した委員の方に協議いただき、条例制定の運びとなりました。人権センターを拠点として、部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて事業を進めていきます。

議案 は、嘱託職員の報酬月額を変更するもの、議案 は、教育長の給与の減額期間を延長するものです。議案 は、進学奨励金の額を変更するもので、議案 は、それぞれ要綱を廃止するものです。また、議案、については、3月議会に上程しました。

ミニギャラリー情報

（町内の展示コーナーを紹介します）

日野総合事務所
「県職員の交通事故・違反パネル展」4月1日～30日まで
山陰合同銀行根雨支店
「西村吉富さん作品展（書・絵画・切絵）」4月9日～5月11日まで

蔵美術館
「岡野三郎『大山の春』」4月1日～25日まで

県西部地震展示交流センター
「県西部地震後のボランティア活動写真展」4月2日～27日まで

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

おしどり学園生募集

平成19年度のおしどり学園生を募集します。

期間 4月から1年間
 場所 日野町公民館
 開催 年10回
 第1回は4月27日(金)の予定。決まり次第応募者に通知します。
 時間 午前9時から3時間程度
 資格 おおむね65歳以上で、年間を通して参加できる人。
 申込み 4月13日(金)までに町公民館へ申込んでください。



地域の大人と楽しい時間を過ごす

町公民館こども教室「おでかけた」

今年度から町公民館が行っている子ども教室「おでかけた」は、毎週水曜日の午後根雨小学校と黒坂小学校に交互に出かけて行き、子どもたちとふれあう事業です。

内容は、ニュースポーツ・昔のおもちゃ作りやオリエンテーリングなど。地域の人の特技や知恵をたくさん子ども

たちに教えていただくことを目的としています。

町民生児童委員の皆さんにも毎回協力していただき、子どもたちの安全を見守っていただいています。

「おでかけた」には、主に低学年児童の参加が多く、中には毎回楽しみに参加してくれる子どももいました。

今後、低学年から高学年までみんなが楽しく過ごせる教室をしていきたいと考えます。

多くの地域の皆さんに学校に出かけて事業に参加していただき、自分の持っている特技や知恵を子どもたちに教えていただきたいと強く願っています。

また、近年多発している犯罪から子どもたちを見守り、安全・安心な地域にしていきたいと思っています。

舟場自治会防災部、総勢33人で地区をパトロール

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会



子どもたちの安全を見守ります

地域の防犯意識の高まりに期待

近年多発する子どもを狙った犯罪から地域の安全・安心を守るため、このたび舟場自治会防災部(総勢33人)が協議会と共に防犯パトロールを行うことになりました。

舟場自治会防災部は、主に小中学生が下校する時間帯に交差点や通学路を中心に子どもたちの見守り・防犯パトロールを行います。活動内容は、スケジュールを組んで決められた日にパト

ロールを行うのではなく、都合のつく日は出来る限り毎日地域の見守りを行います。

協議会では、今まで主に青パト車による防犯パトロールを行ってきましたが、今後は舟場自治会のように地域の防犯意識が高まっていくことを強く願っています。

青パト車の巡回だけでは防ぎきれない地域の安全は、地域の取り組みにより守られるのではないのでしょうか。

(町地域防犯・生活安全パトロール協議会事務局)

日野病院黒坂診療所定期便

黒坂診療所の2周年を迎えて

日野病院長 檀田 豊

黒坂診療所は平成17年2月の開設以来、早2年が経過いたしました。当地域の診療所として受け入れていただきましたことを心より感謝申し上げます。当初は院長の浜副隆一が診察して

おりましたが、平成18年7月からは山根祥晃外科医長が担当しております。診察は水曜日と金曜日の午後2時から行っており、1日あたり11～12人、1月あたり85～90人の患者様のご利用がありました。詳しくは左の表をご覧ください。

この2年間といえは、国の医療構造改革の全貌が明らかになった2年間でもありました。その一つが在宅医療の推進です。日野町でも、将来お年寄りが増えることにより

認知症や寝たきりに代表される生活機能障害を持つ人の増加が予想されます。しかし、町内あるいは近隣の介護施設の数は限られており、そのような人の全てが入所できるとは限りません。日野病院組合は以前から在宅医療に取り組んでおり、訪問診察、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問入浴などのサービスを提供してまいりました。

しかしながら、近年高齢者世帯、独居世帯の増加による家庭の介護力の低下は著しく、そのことが在宅医療の利用者の拡大を阻んでいます。家庭で生活機能障害を持つお年寄りを支えるためには、病院のみならず市町村、介護施設、保健所、開業医、さらには住民が参加した包

括的なケアシステムの構築が望まれます。日野町では今のところこのようなシステムがあるとは言えず、行政による強い指導力の発揮が求められます。国は診療所（かかりつけ医）がそのシステムの中心になることを期待しており、在宅療養支援診療所という24時間体制で往診や訪問看護を実施する新しい診療所の形態を提案しました。人材の確保をどうするかなど多くの問題がありますが、日野病院組合としましては将来的には黒坂診療所を在宅療養支援診療所、日野病院を在宅療養支援診療所支援病院にしたいと考えております。そうすることで日野町の在宅医療の発展に寄与できると考えています。どうぞ、今後とも黒坂診療所を暖かく見守っていただくようお願い申し上げます。

地域別利用状況 (H18.3～H19.1)

地区名	利用人数
黒坂	68
久住	6
下黒坂	10
下菅	5
中菅	3
小河内	3
上菅	1
福長	5
米子市	1
合計	102

年代別利用状況 (H18.3～H19.1)

年代	利用人数
90歳以上	8
80歳代	26
70歳代	42
60歳代	20
50歳代	2
40歳代	0
30歳代	1
20歳代	1
0～10歳代	2
合計	102

診療内容状況 (H18.3～H19.1)

診療内容	利用人数
整形外科的注射	493
静脈注射	80
心電図	11
超音波検査	35
血液検査	135
尿検査	20
その他検体検査	9
手術・処置	41
インフルエンザ	77
投薬	766
合計	1,667

団体・サークル紹介 日野町歴史研修会

日野町歴史研修会は、町内の歴史を研修する、郡内・県内等の歴史を研修する、町内外の歴史の研究調査、機関紙・文献などの発行を目的に、昭和52年12月8日に発足しました。

研修は、毎月第3木曜日で、3時間程度という事が決まっています。現在は曜日が違いますが、最初の話し合いで決められた事を原則として行っています。

この間、本町内を会員で探索・調査研究し、「日野町史跡巡り」を発刊。研究者の貴重な参考書となっております。また、毎年開かれている町公民館主催の「ふるさと教室」では、町内史跡の説明などで、



ふるさと教室で小学生にまちの歴史を解説

町公民館ロビー展のお知らせ

①町内の小中学校児童・生徒による「ジュニア県展入選作品展」を開催中です。(3月31日まで)

②「平成18年度子ども居場所づくり事業写真展」を開きます。(4月5日～30日まで)

場所は町公民館ロビーです。どうぞご覧ください。(展示時間：午前8時30分～午後5時30分)

※ロビー展出展者を募集しています。出展を希望する人は、町公民館までご連絡ください。



ブックスタートで贈る絵本と木のおもちゃ

ブックスタートとは、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動です。まちでは、4月から町内で生まれたすべての赤ちゃんを対象に、定期検診時に絵本2冊と、ボランティアの皆さんによる木のおもちゃを手づくり袋に入れてお届けすることになりました。図書館員が絵本の大切さをお話するほか、ボランティアの人から読み聞かせ、木のおもちゃなどのふれあい遊びを伝えます。(対象者には日程など改めてお知らせします)

読みきかせボランティア募集
ブックスタート時やおはなし会などで絵本の読みきかせをするボランティアを募集しています。初めての人も、研修会などを行いますのでお気軽に申込みください。
詳しくは町図書館までお問合せください。



協力：NPOブックスタート事業

赤ちゃんに絵本のプレゼント ブックスタートはじめます

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

図書館おはなし会

4月21日(土) 10:00～

場所：図書館絵本コーナー
わらべうた「ずくぼんじょ」、
布絵本、おはなしほか(無料)

木のおもちゃづくり

4月22日(日) 10:00～

場所：図書館車庫
こいのぼりの組み木などをつ
くります(材料費実費)

サイエンスアカデミー講座

4月28日(土) 10:30～

場所：図書館資料コーナー
テーマ：未定

図書館展示コーナー

根雨公会堂

国指定登録有形文化財
(現在の町歴史民俗資料館)

4月1日(日)～28日(土)

昭和15年、根雨公会堂を建築設計された岡田孝男さんのご子息、岡田筆之さんから寄贈いただいた建設当時の写真を一部展示します。

5月からは、町歴史民俗資料館に常設展示する予定です。



建築中の根雨公会堂

ホールイベント

日野中学校吹奏楽部

卒業コンサート

3月25日(日) 13:30～

藤っ子ピアノ教室発表会

3月31日(土) 14:00～

柿本ピアノ教室発表会

4月8日(日) 14:30～

おひさまひろば だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時間	内容
9:00 ~ 11:00	受付 (随時受付しています)
9:00 ~	絵本読み、室内おもちゃ遊び (積木、ブロックなど) ふれあい遊び (わらべうたなど)
9:30 ~	一斉活動
10:00 ~	外遊び (雨天時: 室内遊び)
10:40 ~	片付け・ティータイム (各自持参)
10:50 ~	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11:00 ~	あいさつ (終了)

2月は雪遊びを計画していましたが、全く雪がなく、外でたくさん遊べました。

4月は、ポカポカ暖かい部屋と園庭でいっぱい遊びましょう。

図書館からのおはなし会は、9時10分からとします。早めにお出かけください。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田

(電話 72 - 0238)

4月の予定

4月11日(水): 外遊び

4月18日(水): 図書館おはなし会 (9:10 ~)

4月25日(水): 折り紙遊び

4月4日(水)はお休みします。

こころの散歩道 日野町俳句同好会 選

白鳥のまこと豊かに能義平野(講師)谷悦子
 立春てふ言葉病む身に暖かき 安達つるゑ
 春隣シヨウウィンドーの華やかに 荒木習子
 芽吹き初む草道が好き遠まわり 勝瀬京子
 風花の美し遠嶺むらさきに 川上文子
 暖冬の日のやわらかき試歩の道 久城霞溪
 托鉢の春を呼ぶかに鈴さやか 徳本千鶴子
 年の豆踏むまじ新聞受開ける 真壁富貴枝
 (五十音順)

4月1日から、県西部広域行政管理組合リサイクルプラザ「再生工房」(伯耆町)の休所日・開所時間が次のとおり変更になります。

再生工房では、ごみの中でまだ使えそうな家電製品を住民の方みずからの手で修理し、再利用していただけます。

また、ごみから出た家電製品などの再生品を、抽選により無料でお分けしています。

休所日

変更前	変更後
火曜日、水曜日	土曜日、日曜日、国民の休日に関する法律に規定する休日
12月30日から翌年の1月4日まで	12月29日から翌年の1月3日まで

開所時間

変更前	変更後
午前9時~正午、午後1時~午後4時	午後1時~午後4時

問合せ 県西部広域行政管理組合リサイクルプラザ (電話 0859 68 4071)

リサイクルプラザ「再生工房」
休所日など変更のお知らせ

編集後記

連日の暖かさで「春だな～」と思っていたら、3月に入って雪が降りましたね。寒暖の差が激しく、体調を崩す人も多かったのではないのでしょうか。この調子で行くと、日野川のオシドリたちも「いつ帰ろうかねえ...」と迷っているのではないかと勝手に推察している今日このごろです。(i)

(氏名)	(年齢)	(住所)
頭本 隣枝	2月届出分	下黒坂
稲田 茂	77歳	上菅
上田喜久子	77歳	根雨
遠藤 武夫	93歳	別所
3月届出分		
若林 理	76歳	黒坂
田枝	86歳	金持

おくやみ

ご冥福をお祈りします

長谷川心春

貴彦・愛女子 福長

(出生児)

(保護者)(性別)(住所)

おめでと〜ございます

赤ちゃん誕生

届出 2月11日、3月10日 敬称略

2月28日現在

わたしの町

(前月比)

人口	4,185人 (-6)
男性	1,958人 (-4)
女性	2,227人 (-2)
世帯	1,557戸 (-)

4月 ぐらしのカレンダー

APRIL (卯月)



健康、くらしのこころ

早寝早起き朝ごはん

一日のスタートは朝ごはんから

1 日	町消防団出初式 根雨小学校 午前 10 時～
2 月	
3 火	法律相談 開発センター 午後 1 時～ 申込み:町社会福祉協議会 (74-0338) 3月30日〆切 乳幼児相談 開発センター 受付:午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分
4 水	行政相談 町公民館 午前 9 時～正午 不燃ごみの収集日 (全町)
5 木	人権相談 開発センター 午後 1 時～午後 3 時
6 金	
7 土	
8 日	県知事・県議会議員選挙投票日 第 24 回県カヌー選手権大会 カヌーの里特設コース (下榎) 午前 9 時～
9 月	健康相談 町公民館 午前 9 時～午前 10 時
10 火	
11 水	資源ごみの収集日 (全町) 犬の登録・狂犬病予防接種 (8 ページをご覧ください)
12 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所 犬の登録・狂犬病予防接種 (8 ページをご覧ください)
13 金	犬の登録・狂犬病予防接種 (8 ページをご覧ください)
14 土	
15 日	
16 月	
17 火	ポリオ予防接種 開発センター 受付:午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分

18 水	古紙の収集日 (全町)
19 木	
20 金	
21 土	
22 日	町議会議員選挙投票日
23 月	
24 火	1 歳 6 か月児・2 歳児健診 開発センター 受付:午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分
25 水	発泡スチロール・乾電池の収集日 (全町)
26 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
27 金	
28 土	
29 日	昭和の日 宝仏山 登山道開き 集合=町歴史民俗資料館前 午前 8 時 30 分～
30 月	振替休日 (ごみの収集は休みます)

軽自動車税の納期限日は 5 月 1 日 (火) です。

法律相談が始まります

山内法律事務所の協力により、4 月から毎月第 1 火曜日に法律相談が開発センターで開かれます。

相談は無料で、サラ金対策、相続問題、交通事故問題など、様々な内容の相談に応じます。

相談を希望される方は、3 月 30 日 (金) までに、町社会福祉協議会 (電話 74-0338) まで申込みください。先着 4 人程度を受付けます。

年金相談廃止のお知らせ

毎月開発センターで開いていた年金相談は、4 月から廃止されますのでご了承ください。

年金に関する相談は、米子社会保険事務所 (電話 0859-34-6111) までご相談ください。

直通電話	総務企画課 72 0331	住民課 72 0333	出納室 72 2105	健康福祉課 72 0334
	産業振興課 72 2101	黒坂支所 74 0211	公民館 74 0212	議会事務局 72 0335
	農業委員会 72 2103	教育委員会 72 2107	文化センター 72 1300	給食センター 72 1167
	地域包括支援センター 72 1852	ひのっこ保育所 72 0238	黒坂保育所 74 0225	下榎集会所 72 1191
	役場代表番号 (夜間・休日) 72 0331			

町長の定期便

第12回

お互いが手を差し伸べて協力を

今年は暖冬だ、暖冬だと言っていましたら、3月6日、久しぶりに雪が降ってまいりました。梅の花は今を盛りに咲き誇り、甘い香りが漂い春の訪れを感じさせています。

今年は桜の開花が例年より早まるのではないのでしょうか。我がまちで一番早く咲くのが、役場裏山の古木と根雨の権現さんの桜ですが、この3月号がお手元に届くころには、ちらほら咲きになるのではないかと思われます。

先日テレビを見ていましたら、特別番組で全国各地の特色ある村づくりを実践されている指導者のお話を伺うことができました。鳥取県からも智頭町の人が参加されていました。参加者は各々の難問を乗り越えながら、新しい村づくりに取り組まれていました。

私はその中で、ある人が言われた言葉が耳に残りました。その人は今までの取り組みの中で特に気をつけて皆で確認していることについて、「足を引き合つのではなく、お互いが手を差し伸べることをモットーにしています」と発言されていました。

地域づくりを考えるうえで、伸べる力はさらに伸ばすことを、弱い立場にある人に対してはもちろんのこと、温かく声をかけ合い、自らできることを実行していくこととお互いの信頼関係ができれば、暮らしやすい地域ができると思います。

私たちのまちは、これからも安心・安全で心豊かな生活を続けるために、皆で協力し合いたいと思います。

日野町長 景山 享弘

(3月7日記)

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ③7

即席めんを使った簡単メニュー
お好みの野菜でどうぞ



ごちそうラーメン

■ 1人分栄養量

▶ エネルギー 228kcal ▶ たんぱく質 16.1g
▶ 脂質 7.1g ▶ ナトリウム 0.9g ▶ 炭水化物 25.0g

【材料】 1人分

- 即席めん (1/3袋)
- 豚肉 (40g) ● いか (20g) ● 白菜 (50g)
- 黄ピーマン (7g) ● きぬさや (5g)
- にんじん (10g) ● しょうが (2g)
- しめじ (10g)

【作り方】

- ① 豚肉は食べやすく切り、いかは斜めに切り込みを入れて小さく切り、白菜は大きく切り、黄ピーマンは太めの千切りにする。にんじんは輪切りにしてゆでておく。しょうがはおろす。
- ② 水 150cc を沸騰させ、即席めんの添付スープを煮て3等分し、その2/3をなべに入れて豚肉と切った野菜を入れて煮る。
水 150cc を沸騰させ、残りのスープと即席めんを入れて3分間煮てほぐし、器に盛り付ける。
- ③ ②に水溶き片栗粉を加えとろみをつけて③に注ぎ、おろししょうがを盛っていただく。



『よろしくね』『あなたひとすじよ』
撮影 石橋省三さん(島根県益田市)

オシドリ

VOL. 109



過去最高

白鳥に遅れること1か月、いよいよオシドリの北帰行が始まります。この半年間、過去最高を記録しました。オシドリ1000羽。観察者1万8000人。皆様にご協力いただいたおかげです。オシドリを通じて輪も広がりました。セルブひの出店も交流を目的によく頑張られました。金持売店からのオシドリ誘導も功を奏しました。関係者の皆様、ボランティアの皆様、大変お世話になりました。

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田(電話72 0271)